

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	こどもと音楽表現	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	幼稚園教諭・保育士コース		開設期	前期
対象年次	2 年次		科目区分	必修		時間数	3 0 時間
単位数	2 単位		授業形態	演習			
教科書/教材	豊岡短期大学教科書						
担当教員情報							
担当教員	中川 知子・藤田 美保			実務経験の有無・職種	有・音楽教諭		
学習目的							
音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現の各領域を横断した「表現」に関する知識や保育技術の習得を目的としている。学生が幼児教育とは何なのかを考察し、幼児教育の中の「音楽表現」の位置づけを理解できるようになるために、ピアノを使った弾き歌い実践を通し、幼児に対する情操教育の重要性を学ぶことを目的としている。保育内容に沿って子どもの音楽表現活動を援助し、子どもの成長過程における豊かな人間形成を育成することを目的とする。							
到達目標							
日々活動している社会の中で自分を位置付けること。幼児教育についてや保育内容について理解し、こどもの音楽表現遊び、身体表現遊びを展開するために必要な知識や技術を音楽表現的領域、身体表現的領域、言語表現的領域、造形表現的領域から見出し、保育指導法を習得していくことを目標にしている。スクーリング授業を通し、保育内容を理解し、具体的かつ豊かな音楽表現活動ができる技術と知識を習得することが目標である。							
教育方法等							
授業概要	豊岡短期大学の教科書である楽譜を使い、ピアノを弾くための基礎から学び、楽譜を読むために必要な知識を身につけ、ピアノ奏法を学び、更なる弾き歌いや伴奏法への応用力を身につける。また、音楽の様々な要素を能力として定着させるための訓練として、音程やリズムの応用力を養うためにソルフェージュを行う。実技習得は、各自の習得度に合わせて個人的に指導を行う。試験は実技一般に行われるグループでの発表形式で行い、緊張感を感じながら実力を発揮できるように、日々の訓練を意識させる指導を行う。						
	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。豊岡短期大学が指定している遅刻時間に基づき、規定時間を超過して遅刻した者は授業を受けることはできない。単位を取るためには担当教員の指示に従い手続しなおさなければならない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	30%	毎回提示する課題についての仕上がり度を評価する				
	平常点	30%	ピアノに向き合う姿勢、授業態度について評価する				
	試験	40%	試験における課題曲の完成度を評価する(豊岡短期大学の規定に基づく)				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	オリエンテーション			ピアノ実技およびソルフェージュのレッスン授業のあり方について理解する			
2 回	合理的なピアノ奏法を学ぶ			個々の習得度を考慮した練習曲をテキストから選び学習する			
3 回	楽曲構成についての考察			ピアノ曲、ソルフェージュ曲とも楽曲構成にも注目し学習する			
4 回	課題曲の学習①			課題曲について考察し、自分の課題にあった曲目を選択する			
5 回	課題曲の学習②			グループレッスンを通し完成度を確認し理解を促す			
6 回	課題曲の技術的な問題の考察①			課題曲においての技術的な問題点を個々に理解し演習する			
7 回	課題曲の技術的な問題の考察①			課題曲の完成に向けての実践を行う			
8 回	中間発表			課題曲の発表(弾き歌い)			
9 回	様々な国や作曲家についての考察①			様々な国の作曲家による楽曲を学習することで表現の幅を広げることを理解する			
1 0 回	様々な国や作曲家についての考察②			日本の曲として知られる外来曲についての考察と理解			
1 1 回	様々な国や作曲家についての考察③			外国から来た曲についての演習			
1 2 回	ソルフェージュ学習についての考察①			形式など楽曲構成にも着目し学習する			
1 3 回	ソルフェージュ学習についての考察①			形式を理解し、意識しながら歌う演習			
1 4 回	発表準備			試験曲の決定と発表の準備を行う			
1 5 回	最終発表			試験(ソルフェージュを意識しながらの弾き歌い)			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと音楽表現	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名	保育士コース	開設期	前期
対象年次	2 年次	科目区分	必修	時間数	3 0 時間
単位数	2 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	ポケットいっぱいのうた、その他楽譜(教員が準備し配布)				
担当教員情報					
担当教員	藤田 美保		実務経験の有無・職種	有・音楽教諭	
学習目的					
音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現の各領域を横断した「表現」に関する知識や保育技術の習得を目的としている。幼児教育とは何なのかを考察し、幼児教育の中の「音楽表現」の位置づけを理解できるようになるために、ピアノを使った弾き歌い実践を通し、幼児に対する情操教育の重要性を学ぶことを目的としている。保育内容に沿って子どもの音楽表現活動を援助し、子どもの成長過程における豊かな人間形成を育成することを目的とする。					
到達目標					
日々活動している社会の中で自分を位置付けること。幼児教育についてや保育内容について理解し、こどもの音楽表現遊び、身体表現遊びを展開するために必要な知識や技術を音楽表現的領域、身体表現的領域、言語表現的領域、造形表現的領域から見出し、保育指導法を習得していくことを目標にしている。スクーリング授業を通し、保育内容を理解し、具体的かつ豊かな音楽表現活動ができる技術と知識を習得することが目標である。					
教育方法等					
授業概要	幼児のための童謡やわらべ歌の楽譜を使い、ピアノを弾くための基礎を並行し実践しながら、楽譜を読むために必要な知識を身につけたり、ピアノ奏法を学び、更なる弾き歌いや伴奏法への応用力を身につけることを演習する。また、音楽の様々な要素を能力として定着させるための訓練として、音程やリズムの応用力を養うためにソルフェージュを行う。実技習得は、各自の習得度に合わせて個人的に指導を行う。試験は実技一般に行われるグループでの発表形式で行い、緊張感を感じながら実力を発揮できるように、日々の訓練を意識させる指導を行う。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。豊岡短期大学が指定している遅刻時間に基づき、規定時間を超えて遅刻した者は授業を受けることはできない。決められた楽譜、教員が指示をした持ち物を忘れた学生は、授業を受けることはできない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	30%	毎回提示する課題についての仕上がり度を評価する		
	平常点	30%	ピアノに向き合う姿勢、授業態度について評価する		
	試験	40%	試験における課題曲の完成度を評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	オリエンテーション		ピアノ実技およびソルフェージュのレッスン授業のあり方について理解する		
2 回	合理的なピアノ奏法を学ぶ		個々の習得度を考慮した練習曲をテキストから選び学習する		
3 回	楽曲構成についての考察		ピアノ曲、ソルフェージュ曲とも楽曲構成にも注目し学習する		
4 回	課題曲の学習①		課題曲について考察し、自分の課題にあった曲目を選択する		
5 回	課題曲の学習②		グループレッスンを通し完成度を確認し理解を促す		
6 回	課題曲の技術的な問題の考察①		課題曲においての技術的な問題点を個々に理解し演習する		
7 回	課題曲の技術的な問題の考察①		課題曲の完成に向けての実践を行う		
8 回	中間発表		課題曲の発表(弾き歌い)		
9 回	様々な国や作曲家についての考察①		様々な国の作曲家による楽曲を学習することで表現の幅を広げることを理解する		
1 0 回	様々な国や作曲家についての考察②		日本の曲として知られる外来曲についての考察と理解		
1 1 回	様々な国や作曲家についての考察③		外国から来た曲についての演習		
1 2 回	ソルフェージュ学習についての考察①		形式など楽曲構成にも着目し学習する		
1 3 回	ソルフェージュ学習についての考察①		形式を理解し、意識しながら歌う演習		
1 4 回	発表準備		試験曲の決定と発表の準備を行う		
1 5 回	最終発表		試験(ソルフェージュを意識しながらの弾き歌い)		